

京都都市圏における環境負荷が小さく便利で快適な交通環境づくり

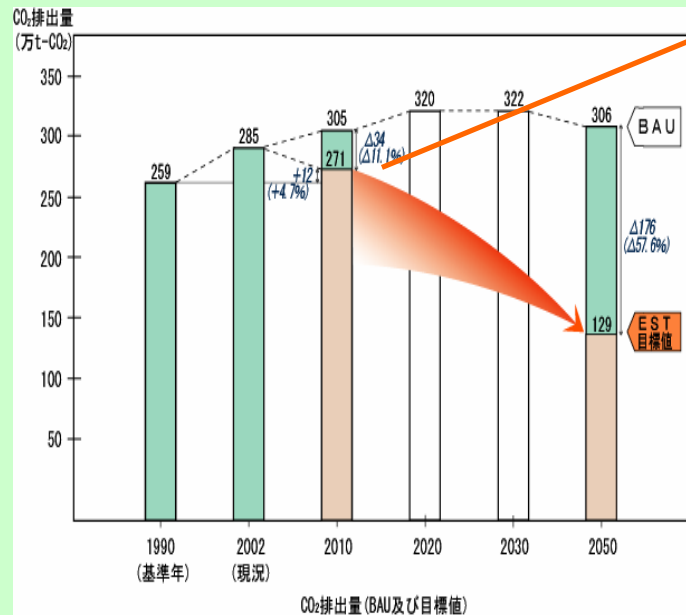
目的:

COP3開催地京都で、環境負荷が小さく、便利で快適な移動環境構築を通じ、豊かな都市圏づくりを推進する

OECD・ESTを踏
まえた京都らしいEST

運輸部門の削減目標設定

目指す温室効果ガスの大気中濃度を、自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させる



長期目標をにらみつつ、2010年の短期目標を設定
(50年後にはCO2排出量の半減が求められている)

目標達成のための削減方策の検討

生成交通の抑制

トリップのコンパクト化

交通手段の転換

効率的な車の利用

土地利用がもたらす環境負荷軽減の検討

公共施設、商業施設、居住地等を駅周辺等に集約した場合の自動車利用変化、環境負荷効果を検証

CO2の排出量を削減

京都都市圏における実施施策の内容（H17）

計画・検討

- ・京都府交通需要マネジメント施策推進プランづくり
- ・EST(環境的に持続可能な交通モデル事業)調査

企業と共に



- ・宇治地域通勤交通社会実験(トラベル・フィードバック・プログラム)
宇治市中心部(宇治地域)の通勤者(約5000人)を対象に実施
鉄道・バス利用者が増大し、通勤自動車が一定削減
クルマ利用者の13.1%がクルマ通勤を転換
- ・京都府南部の企業と連携した交通運営方策検討
送迎バスの共同運行を念頭においた立地企業による研究会設置

地域と共に

- ・女性団体とのお出かけマップづくりワークショップ
京都府南部の6つの女性団体等と昼間のおでかけに必要な情報をとりまとめたマップづくり

学校と共に

- ・小学校を対象としたバス交通を考える取り組み
久御山町立佐山小学校で子供たちがまちづくりやバスの利用促進策を提案する取組



宇治通勤マップ

企業との交通運営方策研究会

お出かけマップづくりワークショップ

バスの体験乗車